

遊文通信

今回の遊文通信は…

- Page2020 レポート
- 新型コロナウイルス感染問題への取り組みについて
- Iridesse、2 台目投入！

Page2020 レポート

遊文舎における「デジタル×紙×マーケティング」

page 展は、印刷に関するセミナーや商材紹介などを中心にした、印刷メディアビジネスの総合イベントです。今年は 33 回目を迎え、池袋サンシャインシティにて、2/5～7 の 3 日間行われました。

今回、東京支店から 4 名が参加してきましたので、今年のメインテーマである「デジタル×紙×マーケティング」についてご報告したいと思います。



「デジタル×紙×マーケティング」とは？

page では昨年に続き「デジタル×紙×マーケティング」をテーマに展開していました。会場内では、このテーマに沿ったセミナーや、印刷物とデジタルを組み合わせた商材など数多くありました。

印刷会社における「デジタル×紙×マーケティング」を簡潔にあらわすと、デジタルと紙の「良いとこどり」をして、お客様のマーケティング活動に貢献するということです。

以前この『遊文通信』でも遊文舎での動画マーケティングや MA（マーケティングオートメーション）など、“紙”以外のデジタルマーケティングについて紹介させていただきました。また、弊社でご活用いただいている AR（拡張現実）動画なども、「紙」と融合させていくプロセスこそが重要だ、と近年注目されています。

遊文舎だからこそ出来ること

page2019 の講演にもありましたが、販促 DM などを送る際に重要なことは、第一に送り先へ予想外のインパクトを与える「刺さるオファー」、第二に不特定多数に送るのではなく「1 to 1 を使うタイミング」です。

それを実現するためには、お客様が考えているマーケティングとはどういうものか、「デジタル」の強みと「紙」の強みとは何かを、まず知識として身に着けなければなりません。

印刷物のノウハウを基盤に持つ我々だからこそ、その「デジタル×紙×マーケティング」の効果的な提案ができるのではないかと自負しています。

今後も紙媒体にとどまらず、印刷会社としての経験・知識を活かして、よりお喜びいただけるよう努めていかねば、と決意を新たに会場を後にしました。

(東京支店 中野 瞬)

page2020 新商材

page では全国各社から様々な新商材がブースで紹介されています。中でも今年は「エコ」に関する商材が多く目につきました。その中から気になったものを 1 点紹介させていただきます！

【eco パルプラリング】

名前だけ聞くと、「なんだそれは？」となりそうですが、なんと主原料が紙でできているカレンダーのリングなんです！この「eco パルプラリング」なら分別不要という、環境に配慮された商材でした。

固さでもプラスチックと遜色なく、安心して使えるのではないかと思います！ストローまでもが紙に変わる時代です。これからもどんどん紙製品が生まれていくのではないのでしょうか？



東京支店 営業グループ 中野

東京支店 制作グループ 萩原

page2020 for Business

digital × paper × marketing

サンシャインシティコンベンションセンター
2020.2.5wed ▶ 2.7fri

[大阪本社] 〒532-0012 大阪市淀川木川東 4 丁目 17-31
TEL : 06-6304-9325 (代) FAX : 06-6304-4995

[東京支店] 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2 丁目 20-7 水道橋西口会館 8F
TEL : 03-5357-1420 FAX : 03-5357-1421

<http://www.yubun.co.jp/>

E-mail : info@yubun.co.jp

SARS-COV-2 新型コロナウイルス 感染問題への 取り組みについて

お客様、取引先の皆様、平素は大変お世話になりありがとうございます。

表題につきまして、弊社では従業員一同、会社への出入り時の石鹸による手洗い、うがいの励行を徹底しております。またウイルスの正体如何を問わず、呼吸器感染症の予防措置は、日常的に自己節制に努め規則正しい生活を送り適切な食と睡眠を確保することにより、自らの免疫力と抗体生成力の維持に努めるより他ないことを自覚し、行動します。

風邪やインフルエンザ等の呼吸器感染症に万一従業員が罹患した

際は直ちに当人に自宅待機を命じ、従業員の健康を最優先した速やかな対応をとります（インフルエンザの予防接種は全従業員が受けております）。マスク着用はせきやくしゃみ等の呼吸器感染症の自覚症状が少しでもある場合、飛沫感染防止のため着用を徹底しますが、健康体にある者につきましては集団の密閉空間に置かれる場合を除き着用には及ばないと判断します。

世界保健機関（WHO）から「SARS-COV-2は同じコロナウイルスでもSARSやMERSほどの脅威ではない」という見解が示されています。1から4までのバイオセーフティレベルにあてはめれば、SARSやインフルエンザと同じく2といったところでしょうか。レベル4の致死率80%を超えるエボラ出血熱あたりとは危機の度合いがかなり異なるのではないかと思います。報道が偏向的に過熱し、情報が錯綜するのはいつものことですが、それらを鵜呑みにしてはならず混雑することなく、情報リテラシー力を正しく機能させることが今必要ではないかと考え、行動したいと考えております。引き続きよろしくご厚意申し上げます。

（株式会社遊文舎 代表取締役 木原庸裕）

Iridesse™ Production Press

2台目投入



デジタル印刷に早くから取り組んでいた遊文舎ですが、先月の1月25日にイリデッセ4C（4色機）という機種を導入しました（イリデッセは富士ゼロックスのフラッグシップモデルです）。

以前導入したイリデッセ6C（6色機）はメタリックカラーを印刷する機能がありましたが今期導入の4Cはメタリックには対応していません。しかしそれ以外の機能はすべて6Cと同じで毎分120ページ（A4）の高速印刷を可能にしています。近年ますます需要が高まるデジタル印刷ですが、遊文舎でもさらにお客様のご要望にお応えするためイリデッセの導入となりました。これにより、遊文舎のデジタル部門のラインナップはさらに重量化しました。

遊文舎では「すぐスール」という印刷通販部門も運営していますが、印刷通販では通常よりさらなる短納期が求められます。

したがってこの部門では殆どの仕事をデジタル印刷で対応しています。

当然イリデッセの出番は多く、様々なご依頼にお応えてしていますが、皆様からのアンケートでも品質に対するお褒めの言葉を多く頂いています。

ひと昔前までは「デジタル印刷はねえ……」というお声も多かったのですが、昨今デジタル印刷に対する認識が大幅に変わっています。インクジェットも含めデジタル印刷の方がキレイという意見も出てきています（オフセットの良さ、デジタルの良さそれぞれあるのですが……）。

遊文舎ではオフセット・デジタルともに高品質を追求する姿勢に変わりはありません。今後もさらにも多くのお客様に満足して頂けるよう頑張りたいと思います。

（デジタル印刷部 / 風帆）

イリデッセの特徴は

1. 高い出力解像度で、高精細の画質を実現しました

リアルな1200dpiのRIP（書き込み解像度は2400dpi×2400dpi）と10bitの階調補正で文字や細線、グラデーションも美しく表現することができます。

2. 1200dpiの表現に対応できる世界最小クラスのトナー

世界最小クラスを誇るSuper EA Eco トナーの小径化により、高精細で画質もより滑らかに表現できます。人肌や空のなだらかな色調の変化など、滑らかに表現しなければならぬグラデーションが実現できるようになりました。

3. 薄紙から厚紙まで120ページ/分の高速プリントが可能

（以前は厚紙になると印刷速度が落ちていました）

4. 用紙サイズによる減速率も大幅に改善

以前の機種では用紙が大きくなると40%に落ちていた印刷速度が50%に改善されました。わずか10%ですが、これが生産性に大きく影響します。

5. はがき（148mm×100mm）から長尺用紙（最大1200mm×330mm）まで幅広い用紙サイズに対応

これによりA4「巻き3つ折りパンフ」や「観音折りパンフ」の対応が可能になりました。

編集後記

『遊文通信100号』を節目にデザインを一新いたしました！この101号は印刷の4原色「C（シアン）M（マゼンタ）Y（イエロー）K（ブラック）」で作成いたしました。いかがでしょうか？ 今後は季節ごとや月よってのデザイン変更も考えております！記事の内容とともにデザインも楽しんでいただければ幸いです。3月は年度末の繁忙期に突入しますので、残念ながら102号は4月までお待ちください。（まるめがね）

今月の紙

紙：ユトリロコート
菊判 93.5kg